

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

|               |  |       |         |
|---------------|--|-------|---------|
| 科目名(英)        | 研究ゼミナールA(Seminar of Study A)                   | 授業コード | C172405 |
| 担当教員名         | 菅 雅幸   |       |         |
| 配当学年          | 3  | 開講期   | 前期      |
| 必修・選択区分       | 全コース 選択  | 単位数   | 2       |
| 履修上の注意または履修条件 | 指導教員の指示にしたがってください。                             |       |         |
| 受講心得          | それぞれの専門分野に関連する全科目                              |       |         |
| 教科書           |  |       |         |
| 参考文献及び指定図書    | 指導教員によって異なりますが、設計や実験や研究の成果だけでなく、努力の過程が重要視されます。 |       |         |
| 関連科目          | 指導教員によって異なります。「目的または到達目標」参照。                   |       |         |

|       |   |
|-------|---|
| 授業の目的 | <p>2年次までの専門教育科目を修了した後、建築デザインコース、ユニバーサルデザインコース、インテリアデザインコース、構造デザインコース、ビオトープコースのいずれかからコースを選択します。</p> <p>研究ゼミナール1では、それらのコースの中で、自分のもっとも興味のある建築分野を研究している研究室に所属します。そして、その指導教員のもとで、卒業研究につながる基礎的な学習や卒業研究を作成するために必要な技術を習得します。</p> <p>CADソフトのより高度なコマンドの修得や、上級生である卒業研究生と一緒に調査や見学、卒業研究につながる文献研究、作品製作やそのための準備、実験あるいは実験のための様々な準備など、指導教員により指導内容は異なります。各指導教員のもとで、各自がそれぞれのテーマを設定し、自主的に研究を行ってください。</p> <p>各指導教員と親密に接触できる絶好のチャンスでもあります。それぞれの専門分野に対する理解を深めるためにも積極的に取り組むことが大切です。</p> |
| 授業の概要 |   |

| ○授業計画 |             |
|-------|-------------|
| 学修内容  | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週:  |             |
| 第2週:  |             |
| 第3週:  |             |
| 第4週:  |             |
| 第5週:  |             |
| 第6週:  |             |
| 第7週:  |             |
| 第8週:  |             |

|           |                |  |
|-----------|----------------|--|
| 第9週：      |                |  |
| 第10週：     |                |  |
| 第11週：     |                |  |
| 第12週：     |                |  |
| 第13週：     |                |  |
| 第14週：     |                |  |
| 第15週：     |                |  |
| 第16週：期末試験 |                |  |
| 授業の運営方法   | (1)授業の形式       |  |
|           | (2)複数担当の場合の方式  |  |
|           | (3)アクティブ・ラーニング |  |
| 備考        |                |  |

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b> |  |
| <b>【関心・意欲・態度】</b>           |  |
| <b>【知識・理解】</b>              |  |
| <b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>    |  |
| <b>【思考・判断・創造】</b>           |  |

| ○成績評価基準(合計100点)  |                 |               | 合計欄          | 0点 |
|--|-----------------|---------------|--------------|----|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点  | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) |    |
| <b>【関心・意欲・態度】</b><br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。   |                 |               |              |    |
| <b>【知識・理解】</b><br>※「専門能力<知識の獲得>」を含む。   |                 |               |              |    |
| <b>【技能・表現・コミュニケーション】</b><br>※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。   |                 |               |              |    |
| <b>【思考・判断・創造】</b><br>※「考え抜く力」を含む。  |                 |               |              |    |
| <b>(「人間力」について)</b><br>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。 |                 |               |              |    |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 成績評価方法                             | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等(提出物)                      |                 |
| 発表・その他(無形成果)                       |                 |